

平成 27 年 度

決 算 報 告 書

第 12 期

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

平成27年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位:百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 額 (決算-予算) | 備 考 |
|---------------------|---------|---------|----------------|-------|
| 収入 | 104,681 | 112,233 | 7,552 | |
| 運営費交付金 | 31,945 | 33,456 | 1,511 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 4,241 | 4,239 | △2 | (注2) |
| 船舶建造費補助金 | 0 | 0 | 0 | |
| 補助金等収入 | 7,622 | 6,966 | △656 | (注3) |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 81 | 81 | 0 | |
| 自己収入 | 44,082 | 46,480 | 2,398 | |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 9,341 | 8,843 | △498 | (注4) |
| 附属病院収入 | 33,982 | 36,067 | 2,085 | (注5) |
| 財産処分収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | 759 | 1,570 | 811 | (注6) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 14,219 | 18,484 | 4,265 | (注7) |
| 引当金取崩 | 241 | 252 | 11 | (注8) |
| 長期借入金収入 | 1,907 | 1,907 | 0 | |
| 貸付回収金 | 0 | 0 | 0 | |
| 目的積立金取崩 | 343 | 368 | 25 | (注9) |
| 計 | 104,681 | 112,233 | 7,552 | |
| 支出 | 104,681 | 108,023 | 3,342 | |
| 業務費 | 72,019 | 74,716 | 2,697 | |
| 教育研究経費 | 38,732 | 39,001 | 269 | (注10) |
| 診療経費 | 33,287 | 35,715 | 2,428 | (注11) |
| 施設整備費 | 6,229 | 6,227 | △2 | (注12) |
| 船舶建造費 | 0 | 0 | 0 | |
| 補助金等 | 7,622 | 6,966 | △656 | (注13) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 14,219 | 15,566 | 1,347 | (注14) |
| 貸付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 長期借入金償還金 | 4,592 | 4,548 | △44 | (注15) |
| 国立大学財務・経営センター施設費納付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 104,681 | 108,023 | 3,342 | |
| 収入 - 支出 | 0 | 4,210 | 4,210 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった前年度からの繰越額を計上したこと、及び特別運営費交付金の追加交付等により、予算額に比して決算額が1,511百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の一部計画変更により予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、受入れの減により、予算額に比して決算額が656百万円少額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して498百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、薬剤稼働額の増による増収のほか、病床稼働率の増による増収により、予算額に比して決算額が2,085百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、著作権及特許権収入及び雑入等の増収により、予算額に比して決算額が811百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び共同研究の受入れ増により、予算額に比して決算額が4,265百万円多額となっております。なお、受託研究費等の前年度からの繰越額は2,650百万円となっております。
- (注8) 引当金取崩については、対象者の増加等により、予算額に比して決算額が11百万円多額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった前年度からの繰越額を計上したことにより、予算額に比して決算額が25百万円多額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、予算段階では予定していなかった前年度からの繰越額を計上したことにより、予算額に比して決算額が269百万円多額となっております。
- (注11) 診療経費については、病院収入の増により、予算額に比して決算額が2,428百万円多額となっております。
- (注12) 施設整備費については、施設整備費補助金の減額により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注13) 補助金等については、受入れの減により、予算額に比して決算額が656百万円少額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究等の受入件数の増により、予算額に比して決算額が1,347百万円多額となっております。
- (注15) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直しなどにより、予算額に比して決算額が44百万円少額となっております。